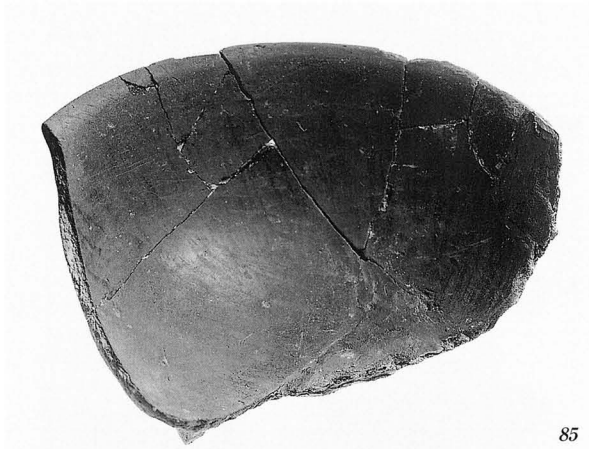

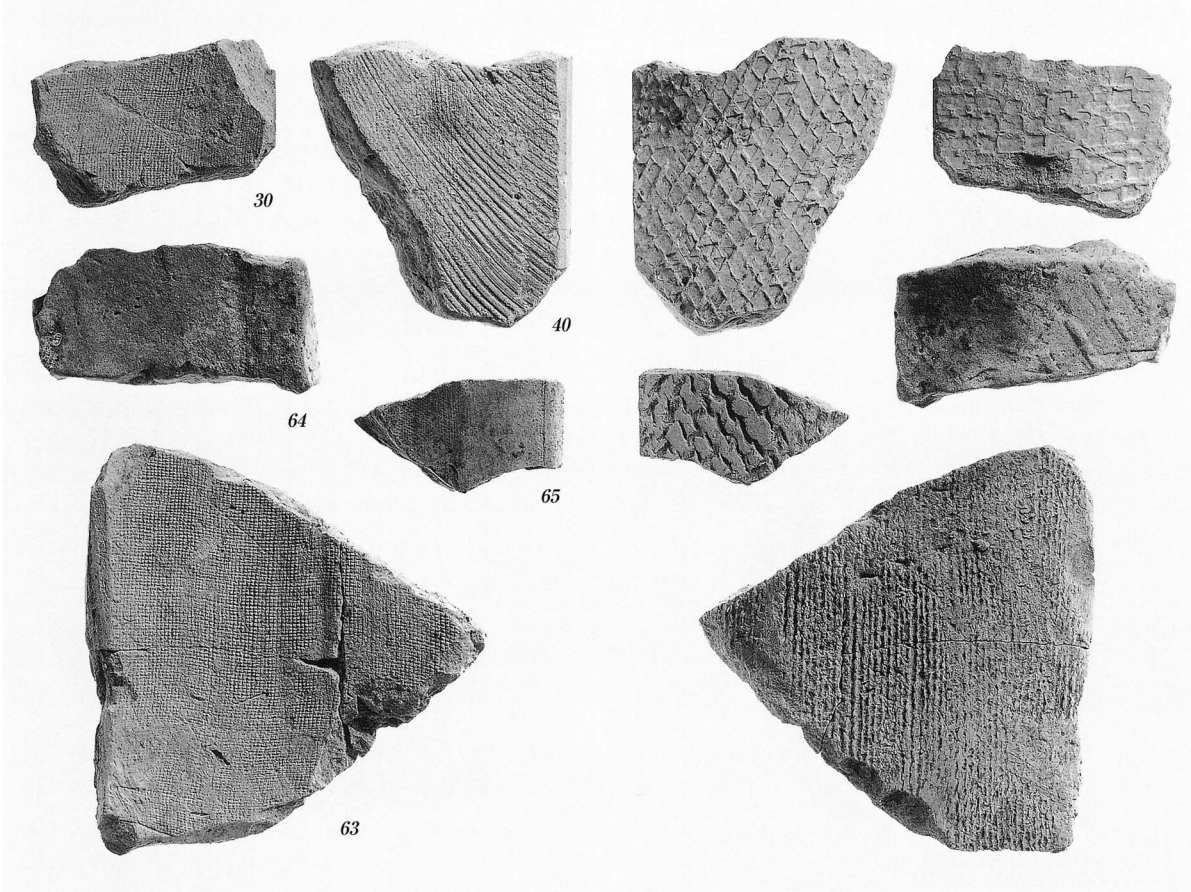

出土遺物（２）

報告書抄録

ふりがな	きしくめちくのいせき7
書名	来住・久米地区の遺跡Ⅶ
副書名	～平成17年度国庫補助市内遺跡発掘調査事業～ 久米高畑遺跡65次調査　久米高畑遺跡66次調査　来住町遺跡14次調査
巻次	
シリーズ名	松山市文化財調査報告書
シリーズ番号	第121集
編著者名	橋本雄一
編集機関	財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
所在地	〒791－8032　松山市南斎院町乙67－6　TEL（089）923－6363
発行年月日	西暦　2008年　3月　31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
久米高畑65次 （くめたかばたけ）	松山市来住町 1150番地 （まつやまし きしまち）	38201		33°48′30″	132°48′7″	20050601 ～ 20050930	約900㎡	重要遺跡 確認調査
久米高畑66次 （くめたかばたけ）	松山市来住町 1147番2 （まつやまし きしまち）	38201		33°48′4″	132°48′4″	20051017 ～ 20051228	約300㎡	重要遺跡 確認調査
来住町14次 （きしまち）	松山市来住町 953番・954番 （まつやまし きしまち）	38201		33°48′19″	132°48′12″	20051001 ～ 20051130	1297.56㎡ のうち 約240㎡	個人住宅の 建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
久米高畑65次	官衙 集落	弥生・古墳 古代	正倉院の濠 官衙の区画溝 掘立柱建物・土坑 竪穴式住居・溝	弥生土器、須恵器、 土師器、石器、 鉄器（鉇）	正倉院南濠の一部と、官衙の区画溝等を検出。弥生終末の焼失住居有り。
久米高畑66次	官衙 集落	弥生・古墳 古代	掘立柱建物・土坑 竪穴式住居・溝	弥生土器、須恵器、 土師器、石器、砥石	連結土坑に似た遺構を検出。
来住町14次	集落	中世・近世	土坑 溝 柱穴	弥生土器、須恵器、 土師器、瓦	官衙遺跡群南方の低地において、中近世の集落の一部を確認した。

要約	久米官衙遺跡群の正倉院南濠の一部を比較的良好な状態で検出することができたことから、施設全体の規模の復元につながる情報を得ることができた（65次）。また、66次にて検出された連結土坑のような溝と、65次の南濠に平行に掘られた溝の存在は、今後、正倉院南面空間における土地利用のあり方を考えるうえで、重要である。さらに、弥生時代終末の焼失住居に関する新しい情報を得ることができた点も、大きな成果であった。なお、来住町14次における成果は、遺跡群南面の低地における土地利用の歴史を解明するうえで、重要なものと認識している。

松山市文化財調査報告書　第121集

来住・久米地区の遺跡Ⅶ

～平成17年度国庫補助市内遺跡発掘調査事業～

久米高畑遺跡65次調査
久米高畑遺跡66次調査
来住町遺跡14次調査

平成20年3月31日　発行

編集　財団法人松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター
〒791－8032　松山市南斎院町乙67番地6
TEL（089）923－6363

発行　松山市教育委員会
〒790－0003　松山市三番町6丁目6－1
TEL（089）948－6605

印刷　株式会社明朗社
〒791－2112　伊予郡砥部町重光150番地1
TEL（089）958－6868